

ニュージーランド便り from ウェリントン（2021 年 1 月号）

日本ニュージーランド協会の皆さま

令和 3 年、明けましておめでとうございます。ヴィクトリア大学日本学科にて講師を務めております高橋進之介と申します。貴会のご厚意に与り、今後、不定期にニュージーランドから記事を寄稿させて頂く事となりました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

今年 2021 年は、川瀬勇博士がニュージーランドに到着されて丁度 90 周年となります。また、北島東部の主要都市ネーピアをマグニチュード 7 の大地震が襲った年でもあります。川瀬博士はニュージーランドでの留学中、ネーピアを訪れ、まだ多くの残骸が残っていた当時の街並みの様子を著書の中でもたびたび書かれております。偶然ではありますが、昨年 11 月、私達一家もネーピアを訪れました。この時期、ウェリントンは風雨が激しく、夏に入ろうというのにまだコートを着る日々でした。しかし、ネーピアの天気はそれとは真逆。空はきれいに晴れ渡り、初夏の陽光が差す観光日和でした。この街は地震から復興する際、当時流行していたアールデコ調の建築物を多く作り、ニュージーランド国内でもアールデコの街として知られています。その中の代表的なものが写真にあるマゾニックホテルです。川瀬博士も著書の中でこのホテルについて言及しており、結果として、今回の旅は、川瀬先生の訪問を少し追体験するものになりました。



ネーピアのマゾニックホテル

今回は、この記事を書いているのが 1 月初旬と言うことで、ここでの年末年始の様子について少しご紹介致します。私の勤め先であるヴィクトリア大学は 12 月に入ると徐々に休暇モードに入ります。同僚とのやりとりやメールの文面にも必ず「have a good holiday」が締め言葉として登場するのがこの時期です。

ニュージーランド便り from ウェリントン（2021 年 1 月号）

大学自体の休暇はクリスマス直前から 1 月初週までの約 2 週間。しかし多くの同僚はその前後に有休消化を充てるので、1 カ月半程度、大学構内は静まり返ります。この間、クリスマス、大晦日、そして元日とイベントが盛り沢山ですが、個人的には元日の過ごし方がとても気に入っています。これまで悪天候に悩まされていたウェリントンも、元日は快晴。私も家族で近くの海へ行き、その後、友人一家とバーベキューをしました。オーストラリア出身の妻にとって、この元日バーベキューは母国の文化というイメージが強かったようですが、実際にはニュージーランドでも一般的なイベントのようです。

最後になりましたが、新型コロナウイルスの猛威がまだ収まらない中ではございますが、日本ニュージーランド協会の皆さまにおかれましては、今年も実り多き平和な一年となりますことを祈念しております。

2021 年 1 月 8 日 高橋進之介